

SRE

SECRETARÍA DE RELACIONES
EXTERIORES



プラスリリース 080/18

メキシコ音楽の夕べ

2019年3月7日、東京

日本とメキシコ文化のシーンに外せない各関係者らが昨日在日メキシコ大使館に集まり、メキシコ人音楽家のアドリアン・ユストゥスとラファエル・ゲーラによるヴァイオリンとピアノのリサイタル「メキシコ音楽の夕べ」に参加した。在日メキシコ大使館、黒沼ユリ子日本メキシコ友好の家、メキシコ国立文化芸術基金（FONCA）共催による本リサイタルでは、マヌエル・M・ポンセ、シルベストレ・レブエルタス、アルフォンソ・デ・エリアス、エルネスト・エロルデュイ、マヌエル・エンリケス、ホルヘ・コルドバ、ミゲル・ベルナル・ヒメネスといった作曲家らの曲が演奏された。



SRE

SECRETARÍA DE RELACIONES
EXTERIORES



アドリアン・ユストゥスはメキシコ・シティー出身。11歳のときに同市のアカデミア・ユリコ・クロヌマで黒沼ユリ子に師事。その後、ローチェスター大学イーストマン音楽学校に留学、マンハッタン音楽院にてピンカース・ズッカーマンのもと研鑽を続け、第一回ヘンリク・シェリング国際ヴァイオリンコンクールで金メダルを受賞。今日まで、カーネギーホール、ウィグモアホール、サントリーホール、プラハ城、メキシコ国立芸術宮殿など数々の国際舞台で演奏を重ねる。また日本での活躍として、**2014**年には東京フィルハーモニーと共演を果たしている。

ラファエル・ゲーラはシナロア州クリアカン生まれ。メキシコ国立音楽院、マンハッタン音楽学校、オハイオ州シンシナティ大学音楽院でピアノを学ぶ。メキシコピアノコンクールやニューオリンズ・ピアノコンクールにて第1位を受賞する。これまで、アメリカ、メキシコや日本などでソリストとして多くのオーケストラと共演し、室内楽ピアニストとしても活躍している。**1997**年から日本に在住。
